

株式会社 クラウン・パッケージ

本社所在地	〒485-8654 愛知県小牧市小針三丁目67番地	
役員	代表取締役社長	佐光 恵蔵
	取締役会長	佐光 守蔵
	専務取締役	井戸 博文
資本金	1億円	
従業員数	2,195名(グループ全体)	1,803名(単体)
年商	501億円（2022年3月）	

沿革 クラウン・パッケージの歩み

1962年	愛知県春日井市において資本金100万円で創業
1963年	全国輸出包装展で名古屋市長賞を受賞
1965年	愛知県小牧市へ移転
1998年	G フルート開発 岐阜工場 開設
2006年	資本金6億3845万円に増資 バリットボックス開発
2016年	埼玉事業所 開設 FSC®/CoC認証を追加取得
2020年	製袋事業部を岐阜事業所へ名称変更
2022年	資本金1億円に減資 株式会社オカモト紙工の株式を100%取得

そのまま陳列できるパッケージ
シェルフレディパッケージング「バリットボックス®」

シェルフレディパッケージングとは

シェルフレディパッケージング（SRP=Shelf Ready Packaging）とは、カッターなどを使わずに簡単に開封でき、そのまま店舗などで商品を陳列できるパッケージのこと。
輸送箱と陳列箱の機能を兼ね備えた新たなパッケージの登場は、流通業界に革命を起こしました。欧米では既に普及している販売方法ですが、近年日本国内でも普及しており、大手小売業で急速に採用を伸ばしています。
クラウン・パッケージは、この画期的なパッケージにいち早く着目。“日本の売場に最適なSRP”をコンセプトに、オリジナルパッケージ「バリットボックス®〜日本のSRP〜」を開発し、2006年から販売を開始しました。同時に国内でも各量販店・小売業、メーカーからの注目度が向上。大手流通グループがSRP事業部を発足し、プライベートブランドの商品パッケージのSRP化に取り組むなど、シェルフレディパッケージング導入の動きが流通業界で活発化しています。



このマークが入っている箱はバリットボックス®です。カッターを使わずに箱を開封できるため、商品の破損を防いで品出し作業の安全を守るパッケージであることをお知らせします。

ワンアクションの簡単な開封で、輸送箱が陳列箱に！
シェルフレディパッケージング「バリットボックス®」の使い方

ワンアクションの簡単な開封で、輸送箱が陳列箱に早変わり！



シェルフレディパッケージングの特長・メリット

シェルフレディパッケージングの特長は、簡単に「認識・開封・陳列・購買・廃棄」できるという5つの機能がひとつの箱に集約されていること。箱の表面に開封方法を図解付きでわかりやすく表記し、誰でも簡単に理解できます。
また手作業で簡単に開封・組み立てが可能のため、品出し作業が効率化できる上、中身が入ったパッケージを店舗の棚に並べるだけで陳列も完了。さらに目につくデザインやPOPによってユーザーが商品を見つけやすく、販売促進・売上アップにもつながります。分厚い外装箱も不要になるため、廃棄にまつわる作業も大幅に軽減。従業員の作業時間削減、業務効率化が図れます。
ヨーロッパでは、シェルフレディパッケージングに切り替えたことで、作業時間70%削減・品切れ状態の売場30%削減・商品回転率90%以上、という効果につながったというデータもあるそうです。

クラウン・パッケージのシェルフレディパッケージング
「バリットボックス®」のメリット

- ・店頭での品出し作業時間を大幅に短縮
- ・目を引く商品陳列
- ・手詰や自動包装など商品の梱包条件に合わせた形状を実現
- ・調味料などの小型商品からペットボトルなど大型商品まで対応
- ・予算に合わせた印刷・形状・材料を選べる
- ・バラエティー豊かなPOP形状
- ・棚陳列以外の山積陳列、クロスMDにも対応
- ・開梱後に廃棄する梱包資材を削減



同社HPより

<2002年以前出願> 段ボール (SRP・陳列・開封)

SRP (クラウンパッケージ)

バリットボックス

日本のSRP先駆け

1993年フランスで出願
された特許がベースに
なっていると思われる

NO.1 EP-A-00637548

2006年に開発され、
2007年より実用新案と
して出願登録が始まる

基本機能に加えて様々な
機能が付加され、多くの
実用新案や特許が登録さ
れている (38件 掲載)

形態種別

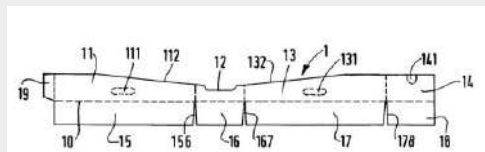
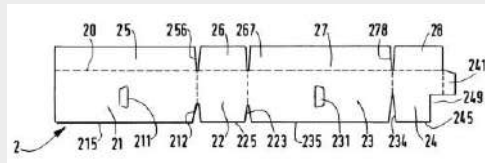
① 2 ピース (基本形態)

専用製箱機で内箱外箱を
糊付し一体とする

② 1 ピース

タイミンググルアー加工

1



5

9

2

6

10

3

7

11

4

8

12